

日本小児栄養消化器肝臓学会雑誌

Japanese Journal of Pediatric Gastroenterology, Hepatology and Nutrition

第 39 巻 増刊号, 2025

Vol.39 Supplement, 2025

第52回日本小児栄養消化器肝臓学会学術集会 講演抄録集 2025年

The 52nd Annual Meeting of Japanese Society
for Pediatric Gastroenterology, Hepatology and Nutrition

会 期：令和7年（2025年）9月26日（金）～28日（日）
会 場：ライトキューブ宇都宮

会 長：熊谷 秀規



日児栄消肝誌

一般社団法人 日本小児栄養消化器肝臓学会

The Japanese Society for Pediatric Gastroenterology, Hepatology and Nutrition

THE 52ND ANNUAL MEETING OF JSPGHAN



会期 2025年9月26日[金]～28日[日]

会場 ライトキューブ宇都宮

テーマ 人生100年時代の小児栄養消化器肝臓学：
持続可能なウェルビーイングのために

会長 熊谷秀規 自治医科大学小児科学



www.jspghan2025.jp



一般社団法人

日本小児栄養消化器肝臓学会

JSPGHAN

Japanese Society for Pediatric Gastroenterology, Hepatology and Nutrition



学術集会事務局：自治医科大学小児科学 横山孝二 〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-1

運営事務局：株式会社SKアベックスプラザ 〒104-0041 東京都中央区新富2-4-14 新富田所ビル4F TEL: 03-3523-3721

THIS POSTER DESIGN IS INSPIRED BY THE ALBUM COVER OF *TECHNODELIC*, RELEASED BY BMD IN 1981.

第52回日本小児栄養消化器肝臓学会学術集会 講演抄録集 2025年

The 52nd Annual Meeting of Japanese Society
for Pediatric Gastroenterology, Hepatology and Nutrition

会 期：2025年9月26日(金)～28日(日)

会 場：ライトキューブ宇都宮

会長 熊谷 秀規

ご 挨 拶

第52回日本小児栄養消化器肝臓学会学術集会

「人生100年時代の小児栄養消化器肝臓学：持続可能なウェルビーイングのために」

第52回日本小児栄養消化器肝臓学会学術集会の開催にあたり、抄録集の冒頭にご挨拶申し上げます。

本学術集会は、2025年9月26日から28日までの3日間、栃木県宇都宮市において開催いたします。今回のテーマは「人生100年時代の小児栄養消化器肝臓学—持続可能なウェルビーイングのために—」にいたしました。小児期の健康は、生涯にわたる心身の基盤を形成するうえで極めて重要です。今、我々小児医療に携わる者には、急速な社会変化や医療の高度化の中で、長期的な視野に立った診療・研究・連携がこれまで以上に求められています。

本学術集会では、小児の栄養・消化器・肝・胆・膵領域の最新の知見を共有し、明日の医療につながる実りある議論を重ねていく場としたいと考えております。国内外から多くの専門家をお招きし、学術講演、シンポジウム、パネルディスカッション、一般演題、クイズ大会にわたって多様なプログラムを準備いたしました。

特別講演では、WHO西太平洋地域事務局長を務め、COVID-19対策では国内で重要な役割を果たされた尾身 茂先生をお迎えします。また、腸内細菌学および糞便微生物移植の分野で世界的に著名な、韓国・延世大学小児科のHong Koh教授にもご講演いただきます。今年は、1965年の日韓基本条約の調印による二国間の国交正常化から60周年を迎える節目の年であり、Hong Koh教授の講演は日本の外務省による「日韓国交正常化60周年記念事業」にも認定されています。

今回の学術集会のポスタービジュアルには、私自身がかつてデザインした学会のロゴマーク（※）をモチーフとして用いています。デザインにあたっては、1900年代初頭のロシア構成主義のエッセンスを取り入れ、色面と構造を強調した前衛的な表現を試みました。とくに1981年にYMO（Yellow Magic Orchestra）が発表したアルバム『テクノデリック』のジャケットデザインに着想を得た構図は、少し尖った印象を与えるかもしれません。従来 of 学会イメージとは異なる視覚的アプローチをあえて採ることで、変革の時代にふさわしい自由な思考と創造性を象徴したいと考えました。なお、モデルは、私の義理の妹と姪です。

本学術集会が、参加者一人ひとりにとって新たな気づきと出会いの場となり、未来の小児医療に寄与する一助となることを心から願っております。

末筆ながら、本学術集会の開催にあたり、ご協力・ご支援を賜りましたすべての方々に深く感謝申し上げます。

2025年9月
第52回日本小児栄養消化器肝臓学会学術集会
会長 熊谷 秀規
(自治医科大学小児科学 教授)

※学会ロゴマークについて



本学会のロゴマークは、2015年に実施された公募によって、私がデザインした案が採用されました。本年はその採用からちょうど10年の節目にあたります。この機会に、ロゴマークに込めた意図と背景をあらためて記録しておきたいと思います。

カラーについて：

本ロゴの基調色には、本学会公式雑誌のイメージカラーであるグリーンを採用しています。中でも、落ち着きのあるアースカラー（オリーブドラブ）をベースとし、「健康」「安心・安全」「癒し」「バランス」「自然」といった本学会の理念と親和性の高い色彩設計としました。

ロゴタイプについて：

NASPGHANやESPGHANではない、「日本」のアイデンティティを明確に打ち出すため、JSPGHANのロゴタイプにおいて“J”の文字を赤で強調しています。これは日の丸を象徴すると同時に、子どもたちのいのちと未来を大切にする意志を表しています。フォントは手書き風の柔らかいタッチとし、温かみと親しみやすさを表現しました。

ロゴマークのモチーフについて：

ロゴマーク全体は「抱っこされ、見つめ合う子ども」の姿をモチーフとしています。この構図には、親子、兄弟姉妹、祖父母と孫、あるいは医療者・教育者と子どもなど、子どもに寄り添い、優しく見守る存在とのつながりが込められています。

また、子どもの頭部を赤で表現することで、本学会の中心テーマである「子どもの健康増進」を象徴するとともに、日本の存在感も意識しています。さらに、マークの中には“J”、“P”、“G”、“H”、“N”の5文字の頭文字を意識的にデザインに取り込んでおり、本学会の名称を視覚的にも表現しています。

〈謝 辞〉

本学術集会の開催にあたり多くの企業、団体様、個人様から多大なるご支援をいただきました。
ここに深甚なる感謝の意を表し、謹んで御礼申し上げます。

第52回日本小児栄養消化器肝臓学会学術集会

会長 熊谷 秀規

共催セミナー

武田薬品工業株式会社
ミヤリサン製薬株式会社
アレクシオンファーマ合同会社

マグミット製薬株式会社
EAファーマ株式会社

企業展示

株式会社光英科学研究所
日本アッシュ株式会社

東亜新薬株式会社
株式会社ガリバー

広 告

講演抄録集

希望の森 成長発達クリニック
株式会社光英科学研究所
積水メディカル株式会社
株式会社ヤクルト本社
リジェネロン・ジャパン株式会社
大塚製薬株式会社
ゼリア新薬工業株式会社
田辺三菱製薬株式会社
日本化薬株式会社
ファイザーR&D合同会社

あすか製薬株式会社
株式会社シノテスト
本多電子株式会社
ヤンセンファーマ株式会社
アッヴィ合同会社
JCRファーマ株式会社
武田薬品工業株式会社
株式会社ツムラ
藤本製薬株式会社
株式会社JIMRO

ウェブバナー

IPSEN株式会社
株式会社光英科学研究所

株式会社エム・シー・アイ

会場スクリーン

株式会社Mizkan

アッヴィ合同会社

寄 付（敬称略）

希望の森 成長発達クリニック
岩手医科大学小児科学講座同門会
社会医療法人恵生会 黒須病院
米沢俊一（子どもは未来もりおかこどもクリニック）
医療法人順定会 やの小児科医院
医療法人淳誠会 おだかキッズクリニック・あんざいキッズクリニック
医療法人アップル アルテミス宇都宮クリニック・ももやこどもクリニック
地方独立行政法人 新小山市民病院
日本赤十字社 芳賀赤十字病院
社会医療法人恒貴会 協和中央病院
小児科塚原医院
医療法人グリムこどもクリニック グリムこどもとアレルギーのクリニック
福田哲夫・福田こどもクリニック
自治医科大学岩手県人会
公益社団法人地域医療振興協会 事務局
公益社団法人地域医療振興協会 日光市民病院
町立厚岸病院
医療法人至聖会 みなみこどもクリニック
医療法人社団翠光会 インターパーク小児科眼科
一般財団法人 とちぎメディカルセンターしもつが
株式会社光英科学研究所
山崎小児科医院
医療法人 おかべこどもクリニック
医療法人裕昴会 あんどうこどもクリニック
遠藤小児科
谷口医院

<2025年 8 月15日現在>

第52回日本小児栄養消化器肝臓学会学術集会

テーマ：人生100年時代の小児栄養消化器肝臓学：持続可能なウェルビーイングのために

会 期：2025年9月26日（金）～28日（日）※現地開催

会 場：ライトキューブ宇都宮
〒321-0969 栃木県宇都宮市宮みらい1-20

会 長：熊谷 秀規（自治医科大学小児科学 教授）

第52回日本小児栄養消化器肝臓学会学術集会事務局

自治医科大学小児科学（事務局長：横山 孝二）
〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-1

第52回日本小児栄養消化器肝臓学会学術集会運営事務局

株式会社SKアベックスプラン
〒104-0041 東京都中央区新富2-4-14 新富田所ビル4F
Tel：03-3523-3722 Mail：info@skap.jp
URL：https://www.jspghan2025.jp/

査読委員・優秀演題賞選考委員

東 良紘，新井勝大，石毛 崇，乾あやの，井上幹大，今川和生，岩間 達，上野豪久，
宇佐美雅章，内田恵一，梅津守一郎，恵谷ゆり，奥田真珠美，垣内俊彦，角田文彦，
加藤沢子，川井正信，木村武司，工藤孝広，小池勇樹，近藤健夫，近藤宏樹，齋藤 武，
齊藤博大，佐伯 勇，佐々木美香，佐藤友紀，眞田幸弘，清水泰岳，東海林宏道，
鈴木光幸，高木祐吾，高橋美智子，竹内一朗，徳原大介，中山佳子，南部隆亮，
西澤拓哉，西亦繁雄，野口篤子，萩原真一郎，羽鳥麗子，林田 真，日衛嶋栄太郎，
藤代 準，別所一彦，細井賢二，益子貴行，松浦俊治，水落建輝，水田耕一，三善陽子，
柳 忠宏，吉年俊文

（敬称略，五十音順）

参加者へのご案内・参加登録

第52回日本小児栄養消化器肝臓学会学術集会は、現地会場のみでの開催となり、ライブ配信・オンデマンド配信はございません。

参加登録・参加費のお支払いは、本学術集会ホームページからお願いいたします。

1. 参加受付

原則として第52回学術集会ホームページの「参加登録」から参加登録を行ってください。

参加費のお支払いは、クレジットカード決済です。

参加費のお支払後にPDF版領収書発行のリンクが記載された、参加登録完了メールが送信されますので、領収書はご自身で発行ください。

また、参加証につきましても、開催4日ほど前にご自身で発行いただく参加証のURLをご登録いただいたメールアドレスへお送りいたしますので、参加証は印刷の上、当日ご持参ください。

※第26回卒後教育セミナーも同時にお申込みいただけます。

※学会場での当日参加登録は現金でのお支払いになりますので、ご注意ください。

※名誉会員、非会員依頼演者の方の登録は不要です。

※演題発表者は必ずご登録ください。

※会員の方は会場へ抄録集をご持参ください。

《会場受付デスク》

場 所：ライトキューブ宇都宮 2Fロビー

受付時間：9月26日（金） 12：00～17：30

9月27日（土） 8：00～17：00

9月28日（日） 7：30～15：00

- 1) 参加登録期間：8月1日（金）から。なお、9月24日（水）17時以降は、学術集会現地での登録をお願いいたします。

	クレジット決済				
	参加証PDF送付対象		参加証ブランク当日渡し		税区分
登録種別	早期割引登録	事前登録	直前登録	当日登録 ※現地現金のみ	
区分／登録期間	8月1日(金)10:00 ～8月29日(金)17:00	8月30日(土)10:00 ～9月17日(水)17:00	9月18日(木)10:00 ～9月24日(水)17:00	9月26日(金) ～28日(日)	
医師・企業（会員）	16,500円	17,500円	18,000円	20,000円	不課税
医師・企業（非会員）	17,500円	18,500円	19,000円	20,000円	課税/消費税 (10%込)
メディカルスタッフ ・初期研修医（会員）	6,500円	7,500円	8,000円	10,000円	不課税
メディカルスタッフ ・初期研修医（非会員）	7,500円	8,500円	9,000円	10,000円	課税/消費税 (10%込)
医学生 ※ 1	無料	無料	無料	無料	
卒後教育セミナー※ 2	2,000円	3,000円	3,000円	5,000円	不課税
抄録集	3,000円	3,000円	3,000円	3,000円	課税/消費税 (10%込)

※ 1 参加登録時に学生証のコピーを添付してください。

※ 2 卒後教育セミナーのみの参加も可能ですが、その場合、本学術集会及び会員懇親会（9月27日（土））にはご参加いただけません。

2) プログラム抄録集の販売について

日本小児栄養消化器肝臓学会の会員の方、本大会の指定演題の非会員演者、座長、協賛企業の方へは、第52回日本小児栄養消化器肝臓学会学術集会のプログラム抄録集1冊を、ご登録の住所に事前に郵送いたします。

※ 9月18日（木）以降のお申込みは、当日お渡しとなりますのでご了承ください。

※ 非会員の方など本学術集会にご参加の方で、抄録集を別途ご希望の場合は、3,000円（課税/消費税10%・送料込）で販売いたしますので、参加登録サイトからお申込みください。
学術集会の会期中も現地で現金決済による販売をいたしますが、数に限りがありますことをご承知おきください。

※ 会員の方には事前に無料配送されますので、ご注意ください。

3) 単位について

◆日本小児栄養消化器肝臓学会の研修単位

卒後教育セミナーを受講された方には、日本小児栄養消化器肝臓学会の認定医申請ポイント1単位が発行されます。

◆日本小児科学会専門医の研修単位

日本小児科学会「小児科領域講習」は下記セッションで各1単位を申請中です。

詳細は決定次第、本学術集会ホームページでご案内いたします。

講習前に会場入口にて受講証引換券を配布します。

講演終了後に、会場出口にて受講証引換券と受講証をお引換ください。

(1) 教育講演Ⅰ：9月27日（土）14：50～15：50 第2会場（2F大会議室201）
「小児におけるダブルバルーン内視鏡」

(2) 教育講演Ⅱ：9月28日（日）11：10～12：10 第3会場（2F大会議室202）
「ミトコンドリア肝症の診療最前線」

2. 会員懇親会

日 時：2025年9月27日（土）18：00～19：30

会 場：ライトキューブ宇都宮 第1会場（3F中ホール）・風のホワイエ

参加費：無 料

3. クローク

日 時：2025年9月26日（金）12：00～18：30

2025年9月27日（土）8：30～18：00

2025年9月28日（日）7：30～16：30

場 所：ライトキューブ宇都宮 4F「401」

※各日ともにお引き取り忘れないようお願いいたします。

4. 理事会、社員総会

1) 理 事 会：9月26日（金）12：30～14：30 第2会場（2F大会議室201）

希望者には12：00からお弁当を配布いたします。別途、学会事務局からご案内いたします。

2) 社員総会：9月26日（金）17：00～18：00 第1会場（3F中ホール）

5. 質疑をされる皆様へ

講演会場でのご質問は、座長の指示に従って所定のマイクを使用して、所属・氏名を述べてから簡潔明瞭をお願いいたします。円滑な進行にご協力をお願いいたします。

6. その他のご案内

1) 写真撮影

講演会場内の写真撮影・動画の撮影または録音等は、著作権保護および個人情報保護の観点から全面的に禁止いたします。

2) 緊急連絡

学会本部または総合受付までお申し出ください。

3) 呼び出し

原則として会場内での呼び出しは行いません。総合受付付近に設置のメッセージボードをご利用ください。緊急の場合のみ休憩時間に会場内のスライド投影を行います。

4) 携帯電話

会場内での携帯電話の使用はご遠慮ください。会場内では電源をお切りなるか、マナーモードに設定してください。

5) ランチョンセミナーについて

9月27日（土）・28日（日）の両日でお弁当をご用意します。数に限りがありますことをご了承ください。

ランチョンセミナーの整理券は配布いたしません。

6) 託児室

託児室の準備はございません。

座長・演者へのご案内

1. 座長の皆様へ

- ・座長の受付は行いません。ご担当セッションの開始10分前までに会場内前方の「次座長席」にご着席ください。
- ・座長席上に計時装置が設置してあります。
発表修了1分前に黄色、終了時に赤色のランプが点灯します。
講演時間は下記の「2. 発表者の皆様へ」に記載の通りです。
- ・ご担当セッションの進行は座長に一任いたします。時間厳守の進行にご協力をお願いいたします。
- ・今回多数の演題応募があり、学生・研修医・専攻医でご登録いただいた演題も、抄録の内容等からシンポジウム、パネルディスカッション、一般演題での採択とさせていただきました。ご担当セッション内に「演題番号：SR-〇〇」がございます際は、ご配慮くださいますようお願いいたします。

2. 発表者の皆様へ

1) 発表時間

9月27日（土）「徹底討論！栄養消化器肝臓疾病の成人移行支援」

9月28日（日）「パネスディスカッション：人生100年時代の胆道閉鎖症」では、セッションの構成が一部異なります。

シンポジウム：9分（発表6分、質疑応答3分）

一般演題：9分（発表6分、質疑応答3分）

学生・研修医・専攻医セッション：9分（発表6分、質疑応答3分）

※演台上に計時装置が設置してあります。発表修了1分前に黄色、終了時に赤色のランプが点灯します。時間厳守にご協力をお願いいたします。

※発表の10分前までに、次演者席にお越しください。

2) 発表者データ受付

① PC受付（2Fロビー）

受付時間：9月26日（金）12：00～16：30

9月27日（土）8：00～16：30

9月28日（日）7：30～15：00

②PC受付のパソコンは台数が限られております。受付PCを独占しての長時間データ修正はご遠慮ください。データ修正等は事前に済ませてからPC受付へお越しください。

3) 発表形式について

①発表形式はPC 発表です。

②スライドサイズは、16：9を推奨いたします（4：3サイズでも映写可能です）。

③会場へはUSBメモリ、パソコン本体のいずれかの形で発表データをお持ち込みください。

④会場に準備するPCはWindows11, PowerPoint Office365です。

⑤セッション開始の30分前までにPC受付にてデータ受付を行ってください。

⑥スライドのページ送りは発表者ご自身で行ってください。

●USBメモリをお持ち込みの方への注意事項

①ソフトは以下のものをご使用ください。

Microsoft PowerPoint

※Macをご使用の方はPCをお持ち込みください。

※動画ファイルをご使用の方もPCをお持ち込みください。

②フォントはOS 標準のもののみご使用ください。

●ノートPC をお持ち込みの方への注意事項

①PCに外部出力（HDMI）が使用できることを必ず確認してください。

②変換コネクタが必要な場合は必ずご持参ください。

③電源アダプタを必ずご持参ください。

④予めスクリーンセーバーや省電力設定は解除してください。

⑤PC受付での試写後、会場内左手のオペレーター席までPCをお持ちください。

講演終了後は、ご自身でPCをお引き取り下さい。

⑥バックアップとして必ずメディア（USBメモリ）もお持ち込みください。

4）発表にかかる利益相反（COI）開示

演題申込時、利益相反申告書を運営事務局へお送りいただいていない方は、必ずお送りください。

筆頭発表者は、今回の演題発表に際して、日本小児栄養消化器肝臓学会の定める利益相反の開示すべき項目に則ってください。

詳細は第52回大会ホームページ内【演題募集・採択結果・利益相反（COI）】ページをご覧ください。

会場ご案内図

《ライトキューブ宇都宮 会場案内》



新幹線

東京駅	東北新幹線	48分
仙台駅	東北新幹線	1時間5分
福島駅	東北新幹線	41分
新潟駅	東北新幹線・上越新幹線	1時間45分
金沢駅	東北新幹線・北陸新幹線	2時間37分
名古屋駅	東北新幹線・東海道新幹線	2時間34分
京都駅	東北新幹線・東海道新幹線	3時間9分
新大阪駅	東北新幹線・東海道新幹線	3時間22分

空港

成田空港	リムジンバス(1日12往復)	約2時間30分
羽田空港	リムジンバス(1日8往復)	約2時間40分
茨城空港	連絡バス 約35分 常磐線 石岡駅 約1時間45分	約2時間20分

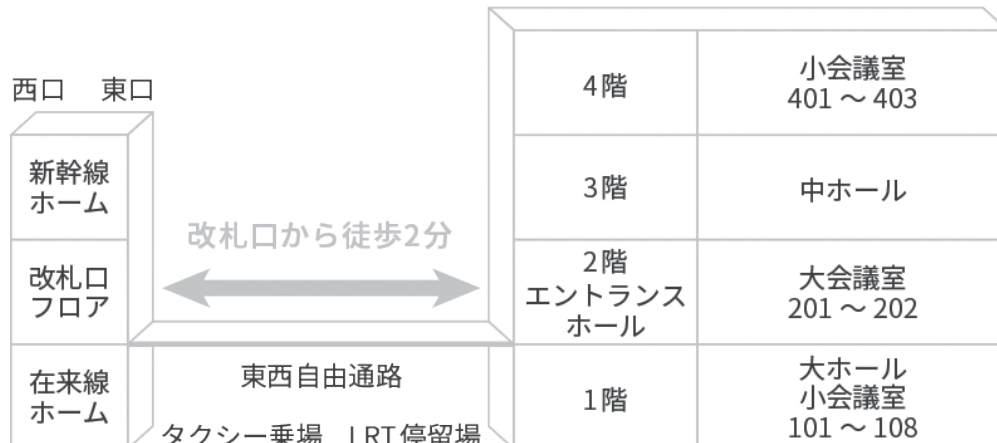
車

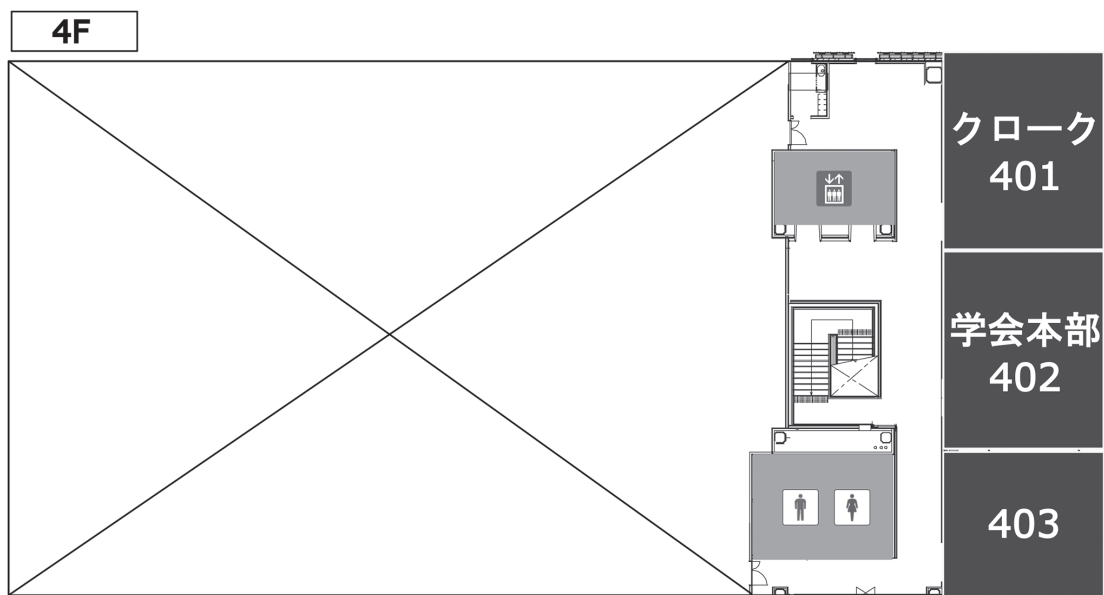
東京方面	川口JCT. 東北自動車道 9.5km 鹿沼IC 国道4号ほか 約10km	約2時間
仙台方面	村田JCT. 東北自動車道 211.5km 宇都宮IC 国道119号ほか 約10km	約3時間20分
水戸方面	友部JCT. 北関東自動車道 54.4km 宇都宮上三川IC 国道4号ほか 約10km	約1時間20分
高崎方面	高崎JCT. 北関東自動車道 54.4km 岩舟JCT. 東北自動車道 29.7km 鹿沼IC 国道4号ほか 約10km	約1時間30分

※当施設に駐車場はありません。近隣の駐車場をご利用ください。

JR宇都宮駅

宇都宮駅東口交流拠点施設





2025年9月26日（金）1日目

第1会場（3F 中ホール）	第2会場（2F 大会議室 201）	第3会場（2F 大会議室 202）
	12：30～14：30 理事会	
13：00～15：00 第26回卒後教育セミナー 座長：神保 圭佑, 西澤 拓哉 講演1 「消化管ポリポースの診断と治療」 講師：中山 佳子 講演2 「DOHaDの視点から考える将来の健康」 講師：東海林 宏道 講演3 「小児門脈血行異常症の診断と治療のポイント」 講師：眞田 幸弘		
15：10～15：15 開会の辞		
15：20～16：20 学生・研修医・専攻医セッション1 座長：奥田 真珠美, 垣内 俊彦	15：20～16：50 一般演題：Crohn病 「人生100年時代の小児期発症炎症性腸疾患①」 座長：新井 勝大, 齊藤 博大	15：20～16：10 一般演題：IgA血管炎ほか 座長：萩原 真一郎
16：25～16：55 一般演題：門脈血行異常症・高アンモニア血症 座長：眞田 幸弘		16：15～16：55 一般演題：腸管の問題と栄養 【座長】井上 幹大
17：00～18：00 社員総会		

2025年9月27日（土） 2日目

第1会場（3F 中ホール）	第2会場（2F 大会議室 201）	第3会場（2F 大会議室 202）
8：55～9：00 理事長ご挨拶		
9：05～9：55 学生・研修医・専攻医セッション2 「人生100年時代の小児期発症炎症性腸疾患②」 【座長】柳 忠宏, 宮田 恵理	9：05～10：15 シンポジウム1 「摂食と栄養の問題」 座長：近藤 宏樹, 三善 陽子	9：05～10：05 一般演題：アレルギー・好酸球性消化管疾患 座長：佐々木 美香, 工藤 孝広
10：00～10：50 State-of-the-Art Lecture 「患者由来iPS細胞を用いた病態モデル開発と治療法創出に向けた研究」 座長：藤代 準 演者：林 洋平	10：25～10：55 一般演題：外傷, 虫垂炎 座長：井原 欣幸	10：15～11：45 一般演題：潰瘍性大腸炎① 「人生100年時代の小児期発症炎症性腸疾患③」 座長：角田 文彦, 原 朋子
11：00～11：50 Cutting-edge Lecture 「先天代謝異常症の遺伝子治療開発～OTC欠損症を中心に～」 座長：野口 篤子 演者：村松 一洋	11：00～11：50 一般演題：便秘異常 座長：羽鳥 麗子	
12：00～12：50 ランチョンセミナー1 「酸化マグネシウム製剤は過去のものなのか」 座長：虻川 大樹 演者：窪田 満 共催：マグミット製薬株式会社		
13：05～14：45 徹底討論！ 栄養消化器肝臓疾病の成人移行支援 座長：窪田 満, 恵谷 ゆり, 鈴鴨 由美子	13：20～14：30 一般演題：内視鏡治療 座長：矢野 智則, 石毛 崇	13：10～14：30 一般演題：炎症性腸疾患一般 「人生100年時代の小児期発症炎症性腸疾患④」 座長：日衛嶋 栄太郎, 高木 祐吾
15：10～15：50 一般演題：脾臓疾患 座長：鈴木 光幸	14：50～15：50 教育講演Ⅰ 小児科領域講習 「小児におけるダブルバルーン内視鏡」 座長：岩間 達 演者：矢野 智則	14：50～15：50 一般演題：代謝性疾患・肝不全・肝移植 座長：近藤 園子, 水田 耕一
16：00～17：00 特別講演Ⅰ 「新型コロナを含めたこれからの感染症対策」 座長：熊谷 秀規 演者：尾身 茂	17：10～17：50 新企画・クイズJSPGHAN 司会：竹内 一朗, 山本 陽子	
18：00～19：30 会員懇親会 来賓挨拶 各種表彰式等		

2025年9月28日（日） 3日目

第1会場（3F 中ホール）	第2会場（2F 大会議室 201）	第3会場（2F 大会議室 202）
8：00～8：50 モーニングセミナー 「消化器・肝臓の症状を呈する先天代謝異常症」 座長：乾 あやの 演者：大石 公彦 共催：アレクシオンファーマ合同会社		
9：00～10：00 一般演題：Microorganisms・Dysbiosis 座長：徳原 大介，清水 泰岳	9：00～10：00 パネルディスカッション 「人生100年時代の胆道閉鎖症」 座長：別所 一彦，松浦 俊治	9：00～10：00 シンポジウム2 「安全・安心な検査と治療」 座長：梅津 守一郎，益子 貴行
10：05～11：05 特別講演Ⅱ 日韓国交正常化60周年記念講演 「The Microbiome and Fecal Microbiota Transplantation: Emerging Roles in Pediatric Gastroenterology」 座長：熊谷 秀規 演者：Hong Koh（고흥）		
11：15～12：05 一般演題：胆汁うっ滞性肝疾患 座長：今川 和生	11：10～12：10 一般演題：機能性消化管疾患，漢方医学 座長：細井 賢二，倉沢 伸吾	11：10～12：10 教育講演Ⅱ 小児科領域講習 「ミトコンドリア肝症の診療最前線」 座長：村山 圭 演者：志村 優
12：20～13：10 ランチョンセミナー2 「アラジール症候群・PFICの早期診断と痒みのコントロール」 座長：水落 建輝 演者：今川 和生 共催：武田薬品工業株式会社	12：20～13：10 ランチョンセミナー3 「小児科医に知ってほしい炎症性腸疾患研究の最前線」 座長：熊谷 秀規 演者：内藤 裕二 共催：ミヤリサン製薬株式会社	
13：20～13：50 受賞講演：学会賞，優秀論文賞 座長：水落 建輝		13：30～16：00 市民公開シンポジウム 「第14回栃木県の移植医療を考える」 ～小児の栄養消化器肝臓移植医療～ 第1部：知ることから始まる臓器移植 演者：五反田 真由美ほか 第2部：美味しく健康的でWell-beingな食事を栃木から発信しよう 演者：芳賀 敦子，高田 一志
14：00～14：40 一般演題：潰瘍性大腸炎② 「人生100年時代の小児期発症炎症性腸疾患⑤」 座長：南部 隆亮	14：00～14：40 一般演題：肝炎・肝障害 座長：乾 あやの	
14：50～15：40 アフタヌーンセミナー 「小児慢性機能性便秘症診療ガイドライン（2025年版）改訂のポイント～PEG製剤のエビデンスを含めて～」 座長：虻川 大樹 演者：中山 佳子 共催：EAファーマ株式会社		
15：45～16：00 閉会の辞／次回学術集会会長の挨拶 司会：横山 孝二		

特別講演，教育講演

特別講演Ⅰ：9月27日（土）16：00～17：00 第1会場（3F中ホール）

「新型コロナを含めたこれからの感染症対策」

座長：熊谷 秀規（自治医科大学小児科学）

演者：尾身 茂（公益財団法人結核予防会）

特別講演Ⅱ：9月28日（日）10：05～11：05 第1会場（3F中ホール）

日韓国交正常化60周年記念講演

「The Microbiome and Fecal Microbiota Transplantation: Emerging Roles in Pediatric Gastroenterology」

座長：熊谷 秀規（自治医科大学小児科学）

演者：Hong Koh（延世大学セブランス病院糞便微生物移植センター）

教育講演Ⅰ：9月27日（土）14：50～15：50 第2会場（2F大会議室201）

日本小児科学会小児科領域講習取得講演

「小児におけるダブルバルーン内視鏡」

座長：岩間 達（埼玉県立小児医療センター消化器・肝臓科）

演者：矢野 智則（自治医科大学内科学講座消化器内科学部門）

教育講演Ⅱ：9月28日（日）11：10～12：10 第3会場（2F大会議室202）

日本小児科学会小児科領域講習取得講演

「ミトコンドリア肝症の診療最前線」

座長：村山 圭（順天堂大学大学院医学研究科小児学講座／難治性疾患診断・治療学）

演者：志村 優（千葉県こども病院代謝科）

State-of-the-Art Lecture：9月27日（土）10：00～10：50 第1会場（3F中ホール）

「患者由来iPS細胞を用いた病態モデル開発と治療法創出に向けた研究」

座長：藤代 準（東京大学医学部小児外科）

演者：林 洋平（京都大学iPS細胞研究財団研究開発センター）

Cutting-edge Lecture：9月27日（土）11：00～11：50 第1会場（3F中ホール）

「先天代謝異常症の遺伝子治療開発～OTC欠損症を中心に～」

座長：野口 篤子（秋田大学医学部附属病院小児科）

演者：村松 一洋（自治医科大学小児科学・遺伝子治療研究センター）

共催セミナー

ランチョンセミナー1：9月27日（土）12：00～12：50 第1会場（3F中ホール）

「酸化マグネシウム製剤は過去のものなのか」

座長：虻川 大樹（宮城県立こども病院院長）

演者：窪田 満（国立成育医療研究センター総合診療部）

【共催】 マグミット製薬株式会社

モーニングセミナー：9月28日（日）8：00～8：50 第1会場（3F中ホール）

「消化器・肝臓の症状を呈する先天代謝異常症」

座長：乾 あやの（済生会横浜市東部病院小児肝臓消化器科）

演者：大石 公彦（東京慈恵会医科大学小児科学講座）

【共催】 アレクシオンファーマ合同会社

ランチョンセミナー2：9月28日（日）12：20～13：10 第1会場（3F中ホール）

「アラジール症候群・PFICの早期診断と痒みのコントロール」

座長：水落 建輝（久留米大学医学部小児科学講座）

演者：今川 和生（筑波大学医学医療系小児科）

【共催】 武田薬品工業株式会社

ランチョンセミナー3：9月28日（日）12：20～13：10 第2会場（2F大会議室201）

「小児科医に知ってほしい炎症性腸疾患研究の最前線」

座長：熊谷 秀規（自治医科大学小児科学）

演者：内藤 裕二（京都府立医科大学大学院医学研究科生体免疫栄養学講座）

【共催】 ミヤリサン製薬株式会社

アフタヌーンセミナー：9月28日（日）14：50～15：40 第1会場（3F中ホール）

「小児慢性機能性便秘症診療ガイドライン（2025年版）改訂のポイント

～PEG製剤のエビデンスを含めて～」

座長：虻川 大樹（宮城県立こども病院院長）

演者：中山 佳子（信州大学医学部附属病院小児科・内視鏡センター）

【共催】 EAファーマ株式会社

第52回 日本小児栄養消化器肝臓学会学術集会・市民公開シンポジウム

第14回

栃木県の 移植医療を考える

入場
無料



どきまる
©栃木県



宇都宮ブレックスは
栃木県臓器移植推進
サポーターに任命
されています！

日時 2025年
9月28日(日) 13:30~16:00

会場 ライトキューブ宇都宮
2階大会議室202(宇都宮市)

主催 自治医科大学附属病院 移植・再生医療センター
共催 第52回日本小児栄養消化器肝臓学会学術集会

プログラム

第Ⅰ部 知ることからはじまる臓器移植 13:45~14:50

1. 「わが国と栃木県の移植医療について」(15分)
講師：栃木県臓器移植推進協会 五反田 真弓
2. 「ひらけ、いのちの学びのとびら
〜グリーンリボンと考える移植医療〜」(40分)
見て学べる！臓器移植のことがやさしく学べる「グリーンリボン学園」



お車で越しの方へ
駐車場はありませんので、近隣のコインパーキングなどを
ご利用ください。(提携割引もありません)

ライトキューブ宇都宮 検索

<https://light-cube.jp/>



第Ⅱ部 美味しく健康的でWell-being(ウェルビーイング)な食事を栃木から発信しよう 15:00~15:55

1. 「自分に合った「たんぱく質」のとり方を見つけよう」(15分)
講師：自治医科大学附属病院 臨床栄養部 管理栄養士 芳賀 敦子
2. 「栃木発・フレンチシェフと考える、Well-being(ウェルビーイング)な食卓」(40分)
栃木の豊かな食材を活かし、健康にもこころにもやさしいレシピのご紹介
講師：レストランLes jours 高田 一志

(敬称略)



お問い合わせ

自治医科大学附属病院 総務課
TEL: 0285-58-7104

後援 栃木県 下野市 公益財団法人栃木県臓器移植推進協会 一般社団法人栃木県医師会
公益社団法人栃木県看護協会 公益社団法人栃木県栄養士会 一般社団法人栃木県病院薬剤師会
下野新聞社 栃木放送 エフエム栃木 とちぎテレビ 宇都宮ブレックス(順不同)

日本小児栄養消化器肝臓学会

第26回卒後教育セミナー

当学会では 2013年から年2回の卒後教育セミナーを開催し、小児の栄養・消化器・肝臓領域における基礎から日常診療に生かせる最新情報まで、各領域の第一線でご活躍されているエキスパートからわかりやすく実践的な講義を行っています。

今回は、栃木県宇都宮市で開催される第52回日本小児栄養消化器肝臓学会学術集会に併せて、以下のプログラムで開催させていただきます。学会認定医の申請・更新ポイントも取得できますので、是非この機会に 卒後教育セミナーにご参加下さい。

- 会 期：令和7年9月26日（金） 13:00～15:00
 会 場：ライトキューブ宇都宮 第1会場（3F 中ホール）
 〒321-0969 栃木県宇都宮市みらい1-20
 開催方法：現地開催のみ（オンデマンド配信はありません）
 参加費：3,000円（早期申込 2,000円） ※ Web申込、カード決算
 定 員：200名
 募集期間：令和7年7月25日～9月20日
 応募方法：第52回 日本小児栄養消化器肝臓学会学術集会のホームページ
<https://www.jspghan2025.jp/>から事前の参加登録をお願いいたします。

当日の参加申込も可能ですが、当日の参加費は**5,000円**（現金のみ）となります。現地で受付にお申出ください。定員に達した場合には参加できないことがございますのでご注意ください。登録後のキャンセルは、承ることができません。

修了証発行：セミナー終了後に会場にて、認定医申請および更新のための修了証（1ポイント）をお渡しいたします。

プログラム

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| | 座長 神保 圭佑先生（順天堂大学 小児科） |
| | 西澤 拓哉先生（群馬大学 小児科） |
| 講演1 「消化管ポリポシスの診断と治療」 | 中山 佳子先生（信州大学 小児科） |
| 講演2 「DOHaDの視点から考える将来の健康」 | 東海林宏道先生（順天堂大学 小児科） |
| 講演3 「小児門脈血行異常症の診断と治療のポイント」 | 眞田 幸弘先生（自治医科大学 移植外科） |

お問合せ先：
 一般社団法人日本小児栄養消化器肝臓学会 事務局

〒112-0012
 文京区大塚5-3-13-4F 学会支援機構内
 Tel : 03-5981-6011
 Fax : 03-5981-6012
 Email : jspghan@asas-mail.jp

日本小児栄養消化器肝臓学会 理事会・社員総会・表彰

理 事 会 9月26日（金） 12：30～14：30 第2会場（2F大会議室201）
お弁当の用意がごさいます。

社 員 総 会 9月26日（金） 17：00～18：00 第1会場（3F中ホール）

表 彰 式 9月28日（日） 13：20～13：50 第1会場（3F中ホール）
※学会賞，若手優秀論文賞

学会賞

笠原 群生（国立成育医療研究センター病院長）

若手優秀論文賞

青木 香央里（順天堂大学小児科）

優秀演題発表 ※表彰は会員懇親会にて行います

【栄養・その他の部門】

SY-01 小児における壊血病の全国調査結果
増田 雄（愛知医科大学病院小児科）

【消化管部門】

O-50 超早期発症型潰瘍性大腸炎の発症におけるmaternal microchimerismの
関与について：多施設後方視的研究
戸田 方紀（順天堂大学小児科）

【肝臓・胆道系・脾臓部門】

O-73 進行性家族性肝内胆汁うっ滞症1型（PFIC1）において胆汁うっ滞は
脂肪肝発症を抑制する
大岡 晟也（東京大学大学院薬学系研究科分子薬物動態学教室）

誌上表彰：

会長特選症例報告

- O-71 糞便移植が奏功した小児再発性*Clostridioides difficile*腸炎の1女児例
近藤 健夫（香川大学小児科）

会長特別トラベル賞

- O-70 小児過敏性腸症候群における唾液・腸液・便のマイクロバイオーーム解析
佐渡 智光（信州大学小児医学教室）
- O-20 腸管不全患者における経口セレン補充療法の安全性と有効性に関する前向き介入研究
川口 雄之亮（千葉大学大学院医学研究院小児外科学）
- O-77 小児潰瘍性大腸炎における神経内分泌細胞マーカーの定量的発現解析と臨床的意義
成重 勇太（宮城県立こども病院）
- O-57 Ras関連自己免疫性リンパ増殖症候群に合併した炎症性腸疾患の特徴に関する探索的研究
竹内 一郎（国立成育医療研究センター消化器科／小児IBDセンター）
- O-12 小児クローン病における初回抗TNF α 製剤の治療成績に関する比較検討
服部 透也（埼玉県立小児医療センター消化器・肝臓科／小児IBDセンター）
- O-59 5-ASA不耐症における好酸球性炎症の関与：MBPを用いた組織学的解析
肥塚 慶之助（秋田大学総合診療・検査診断学講座）
- O-09 抗インテグリン $\alpha v \beta 6$ 抗体陽性小児クローン病の臨床的特徴
阿部 直紀（あいち小児保健医療総合センター感染免疫科）
- PD-03 当院における小児胆道閉鎖症に対するethanolamine oleateによる内視鏡的静脈瘤硬化療法
横山 晋也（名古屋大学大学院医学系研究科消化器内科学）
- O-64 新生児ヘモクロマトーシスにおけるプロテインマイクロアレイ解析を用いた母体自己抗体探索の試み
日衛嶋 栄太郎（京都大学小児科）
- O-19 当院におけるIsolated hypoganglionosis患児の栄養管理の現状と今後の課題
吉村 翔平（兵庫県立こども病院小児外科）
- O-27 小児穿孔性虫垂炎における術後抗菌薬投与期間と腹腔内膿瘍形成との関連
大林 樹真（聖マリアンナ医科大学小児外科）
- TT-09 小児生体肝移植後20年以上経過した患者の現状と課題
本田 正樹（熊本大学小児外科・移植外科）
- O-34 The First Endoscopic Ischemic Polypectomy for a Pediatric Patient with Peutz-Jeghers Syndrome in Mongolia
Ulzii Dashnyam (Mongolian National University of Medical Sciences,
Department of Pediatrics)

第52回
日本小児栄養消化器肝臓学会学術集会
—プログラム—

👑 = 優秀演題

★ = 会長特選症例報告／
会長特別トラベル賞

9月26日（金）【1日目】

第1会場（3F 中ホール）

15:10~15:15 開会の辞

開会のご挨拶 熊谷 秀規（自治医科大学小児科）

15:20~16:20 学生・研修医・専攻医セッション1

座長：奥田真珠美（兵庫医科大学小児科学）

垣内 俊彦（佐賀大学医学部小児科）

SR-01 食物蛋白誘発胃腸症を疑われるも診断確定に至らなかった重症消化器症状の1乳児例

箕輪 真由佳（聖マリアンナ医科大学病院臨床研修センター）

SR-02 巨大毛髪胃石に対し無糖炭酸水を局注して内視鏡的除去に成功したRapunzel症候群の1例

中澤 ちひろ（信州大学医学部小児医学教室）

SR-03 *H. pylori*感染症と胆石を伴った11歳男児例

大石 元（和歌山県立医科大学小児科）

SR-04 Fontan関連肝疾患に伴う肝性糖尿病に対し α -グルコシダーゼ阻害薬が有用であった1例

相原 久人（都立豊島病院小児科）

SR-05 環状21番染色体を有する重症心身障害者に発症した直腸癌の1例

伊藤 大智（広島市立広島市民病院）

SR-06 腹部単純写真で異常な消化管ガス分布を示した3例

大西 美薫（名古屋掖済会病院小児科）

16:25~16:55 一般演題 門脈走行異常症・高アンモニア血症

座長：眞田 幸弘（自治医科大学消化器一般移植外科）

O-01 香川県小児生活習慣病予防健診の腹部超音波検査を契機にみつかった門脈血行異常症による食道静脈瘤の1男児例

近藤 園子（香川大学医学部小児科）

O-02 当科における肝外門脈閉塞症に対する治療

山本 美紀（京都大学肝胆膵・移植外科／小児外科）

O-03 小児肝性脳症に関する診療実態：診療報酬データベースを用いた疾患横断的分析

足助 弘江（あすか製薬株式会社メディカルアフェアーズ部）

第2会場（2F 大会議室201）

15:20~16:50 一般演題 Crohn病

「人生100年時代の小児期発症炎症性腸疾患」①

座長：新井 勝大（国立成育医療研究センター消化器科／小児IBDセンター）

齊藤 博大（茨城県立こども病院小児消化器肝臓科）

- O-04 便中カルプロテクチン高値からCrohn病の診断に至った肉芽腫性口唇炎の女児例
山本 陽子（東京女子医科大学病院小児科）
- O-05 クロウン病に心不全を合併した1例
岡内 日菜美（大阪ろうさい病院小児科）
- O-06 5-ASA内服中に薬剤性間質性腎炎と診断された小児クロウン病の1例
長野 由佳（三重大学医学部附属病院消化管・小児外科）
- O-07 外陰部潰瘍を合併したクロウン病の2例
三村 卓矢（金沢大学附属病院小児科）
- O-08 コルヒチンの追加が有効であった小児期発症クロウン病の1例
藤田 雄治（獨協医科大学医学部小児科学）
- ★O-09 抗インテグリン $\alpha v \beta 6$ 抗体陽性小児クロウン病の臨床的特徴
阿部 直紀（あいち小児保健医療総合センター感染免疫科）
- O-10 Bio-naiveのCrohn病におけるウステキヌマブの長期使用成績：単施設後方視的観察研究
新井 喜康（順天堂大学小児科）
- O-11 肛門病変のみで発症する小児クロウン病の有病率とその特徴
杉野 嘉彦（熊本赤十字病院こども医療センター小児科）
- ★O-12 小児クロウン病における初回抗TNF α 製剤の治療成績に関する比較検討
服部 透也（埼玉県立小児医療センター消化器・肝臓科／小児IBDセンター）

第3会場（2F 大会議室202）

15：20～16：10 一般演題 IgA血管炎ほか

座長：萩原真一郎（大阪母子医療センター消化器・内分泌科）

- O-13 精巣上体炎を合併した難治性IgA血管炎に対しステロイドパルス療法が奏効した
幼児例
木村 拓（久留米大学医学部小児科学講座）
- O-14 小腸重積症の観血的整復後に腸穿孔を来したIgA血管炎の1例
中島 啓吾（広島大学病院小児外科）
- SR-07 遷延性IgA血管炎に対する維持療法の長期成績に関する検討：単施設症例集積
鈴木 絵美子（順天堂大学小児科）
- O-15 ループス腸炎によるイレウスを初発症状とし、診断に難渋した全身性エリテマト
ーデス（SLE）の1例
野中 絵美（富士市立中央病院小児科）
- O-16 蛋白漏出性胃腸症の後に高度貧血を発症したリンパ管腫症の1例
江花 涼（沖縄県立中部病院小児科）

16：15～16：55 一般演題 腸管の問題と栄養

座長：井上 幹大（藤田医科大学小児外科）

- O-17 高位空腸ストーマで管理している腸管神経節細胞僅少症児に対するテデュグルチ
ド投与の意義
薄井 佳子（自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児外科）
- O-18 短腸症候群小児におけるGLP-2アナログ製剤の有効性について
伊東 英美（大阪大学大学院医学研究科小児科学）
- ★O-19 当院におけるIsolated hypoganglionosis患児の栄養管理の現状と今後の課題
吉村 翔平（兵庫県立こども病院小児外科）
- ★O-20 腸管不全患者における経口セレン補充療法の安全性と有効性に関する前向き介入
研究
川口 雄之亮（千葉大学大学院医学研究院小児外科学）

9月27日（土）【2日目】

第1会場（3F 中ホール）

8：55～9：00 理事長挨拶

理事長ご挨拶 虻川 大樹（宮城県こども病院院長）

9：05～9：55 学生・研修医・専攻医セッション2

「人生100年時代の小児期発症炎症性腸疾患」②

座長：柳 忠宏（やなぎクリニック）

宮田 恵理（順天堂大学小児科）

SR-08 22q11.2欠失症候群に潰瘍性大腸炎を合併した1例

菊地 俊輔（千葉県こども病院小児救急総合診療科）

SR-09 B型急性肝炎に罹患しTNF抗体製剤の治療中断を余儀なくされた小児期発症クローン病の1例

木村 優也（群馬大学医学部附属病院小児科）

SR-10 小児クローン病患者治療中に尿細管間質性腎炎を合併した2例

鱒渕 明（東京都立小児総合医療センター消化器科）

SR-11 メサラジン不耐症3例の検討

脇村 光郁（和歌山県立医科大学小児科）

SR-12 小児期発症炎症性腸疾患患者の初発時および初診時臨床症状および病型の変化

加藤 裕之（群馬大学医学部附属病院小児科）

10：00～10：50 State-of-the-Art Lecture

「患者由来iPS細胞を用いた病態モデル開発と治療法創出に向けた研究」

座長：藤代 準（東京大学小児外科）

演者：林 洋平（京都大学iPS細胞研究財団研究開発センター）

11：00～11：50 Cutting-edge Lecture

「先天代謝異常症の遺伝子治療開発～OTC欠損症を中心に～」

座長：野口 篤子（秋田大学小児科）

演者：村松 一洋（自治医科大学小児科学・遺伝子治療研究センター）

12：00～12：50 ランチョンセミナー1

「酸化マグネシウム製剤は過去のものなのか」

座長：虻川 大樹（宮城県立こども病院院長）

演者：窪田 満（国立成育医療研究センター総合診療部）

【共催】 マグミット製薬株式会社

13 : 05~14 : 45 徹底討論！栄養消化器肝臓疾病の成人移行支援

座長：窪田 満（国立成育医療研究センター総合診療部）
恵谷 ゆり（大阪母子医療センター消化器・内分泌科）
鈴鴨由美子（宮城県立こども病院看護部）

TT-01 小児IBD患者の移行期支援を目指した援助

上野 藍（聖マリアンナ医科大学病院こどもセンター）

TT-02 小児IBD患者および保護者における患者会へのニーズとトランジション不安に関するアンケート調査

八木 龍介（群馬大学大学院医学系研究科小児科学）

TT-03 小児潰瘍性大腸炎術後におけるトランジションの検討

小池 勇樹（三重大学医学部附属病院消化管小児外科）

TT-04 移行期医療における排泄管理の問題

關根 沙知（NHO栃木医療センター小児外科小児泌尿器科）

TT-05 服薬ノンアドヒアランス症例における移行期支援

平田 雄大（自治医科大学消化器一般移植外科）

TT-06 生体肝移植後の思春期における育ちに応じた親の関わりのプロセス：修正版グラウンデッドセオリーアプローチ

田村 敦子（自治医科大学看護学部）

TT-07 二分脊椎症の移行期医療における問題点

薄井 佳子（自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児外科）

TT-08 先天性胆道拡張症術後フォローアップの現状と成人期への確実な橋渡しへの課題

三宅 啓（静岡県立こども病院小児外科）

★TT-09 小児生体肝移植後20年以上経過した患者の現状と課題

本田 正樹（熊本大学小児外科・移植外科）

TT-10 成人診療科医師を対象とした小児発症慢性消化器疾患の成人移行支援に関する意識調査

田中 篤（帝京大学医学部内科学講座）

15 : 10~15 : 50 一般演題 脾臓疾患

座長：鈴木 光幸（順天堂大学小児科）

O-21 巨大脾仮性嚢胞に対してlumen-apposing metal stentを用いた経胃的ドレナージ術が奏功した幼児例

齊藤 寛貴（順天堂大学小児科）

O-22 腹部超音波検査による主脾管の評価が診断に有用であった慢性脾炎の女児例

村重 皓斉（山口大学医学部附属病院小児科）

O-23 保存的治療抵抗性の脾性腹水に対し経乳頭的脾管ドレナージが奏功した1例

蜂須 康亮（順天堂大学小児科）

O-24 遺伝性脾炎を有する小児に対するステントフリーへの移行と患者支援の課題

新井 健人（東京医科大学病院小児科・思春期科）

16:00~17:00 特別講演 I

「新型コロナを含めたこれからの感染症対策」

座長：熊谷 秀規（自治医科大学小児科学）

演者：尾身 茂（公益財団法人結核予防会）

第2会場（2F 大会議室201）

9：05～10：15 シンポジウム1 摂食と栄養の問題

座長：近藤 宏樹（近畿大学奈良病院小児科）

三善 陽子（大阪樟蔭女子大学健康栄養学部健康栄養学科臨床栄養発育学研究室）

☞SY-01 小児における壊血病の全国調査結果

増田 雄（愛知医科大学病院小児科）

SY-02 重症心身障害者の摂食に対する外科的支援

小林 めぐみ（NHO栃木医療センター）

SY-03 栄養障害による症状をきたした偏食に対して胃瘻を造設した自閉症スペクトラム障害の1例

二見 徹（茨城県立こども病院小児外科）

SR-13 多職種連携により自閉スペクトラム症を背景とした栄養障害を改善できた1例

平川 雄大（佐賀大学医学部附属病院小児科）

SY-04 摂食拒否の見られた小児に対して地域歯科医院の管理栄養士が栄養指導を行った2症例

辻本 若菜（メディエフ寺嶋歯科医院）

SY-05 神経性やせ症に対してオペラント条件付けを取り入れた行動療法を行った3例

松岡 諒（東京慈恵会医科大学葛飾医療センター小児科）

SY-06 小児肥満に対しAI食事管理アプリ（カロミル）を使用した栄養指導の試み

武藤 美紀子（東京医科大学病院栄養管理科）

10：25～10：55 一般演題 外傷，虫垂炎

座長：井原 欣幸（岩手医科大学医学部外科学講座）

O-25 外傷性十二指腸・空腸壁内血腫の1例

Traumatic duodenal and jejunal intramural hematoma : Case report

吉田 寛樹（久留米大学医学部外科学講座小児外科部門）

O-26 当科で画像検査を施行した急性腹症193例の検討

吉和 穂乃佳（箕面市立病院小児科）

★O-27 小児穿孔性虫垂炎における術後抗菌薬投与期間と腹腔内膿瘍形成との関連

大林 樹真（聖マリアンナ医科大学小児外科）

11：00～11：50 一般演題 便通異常

座長：羽鳥 麗子（群馬大学医学部附属病院地域医療研究・教育センター）

O-28 胎便閉塞性疾患と診断された満期出生児に対する嚢胞性線維症精査の経験

和田 珠希（大阪母子医療センター消化器・内分泌科）

O-29 *Streptococcus gallolyticus*菌血症を合併した糞便性腸閉塞の1例

石川 華佳（広島市立舟入市民病院小児科）

O-30 S状結腸捻転症に対して非観血的に整復を行うことができた慢性便秘症の男児の1例

治山 芽生（帝京大学医学部小児科）

- O-31 小児便塞栓除去におけるガストログラフィン注腸の安全性と有用性に関する検討
萩原 真一郎（大阪母子医療センター消化器・内分泌科）
- O-32 「小児慢性機能性便秘症診療ガイドライン2025」改訂のポイント
中山 佳子（小児慢性機能性便秘症診療ガイドライン改訂版作成ワーキンググループ）

13：20～14：30 一般演題 内視鏡治療

座長：矢野 智則（自治医科大学内科学講座消化器内科学部門）
石毛 崇（群馬大学大学院医学系研究科小児科学）

- SR-14 胃閉塞を来したPeutz-Jeghers症候群の1例
武田 りほ（東京都立小児総合医療センター消化器科）
- SR-15 ポリドカノール局注療法により寛解が得られた直腸血管腫からの下血例
鈴木 未来（順天堂大学小児科）
- O-33 Endoscopic Balloon Dilation Therapy for Duodenal Stenosis
Tsetsegmaa Tsoggerel
(Second National Center for Maternal, Infant and Child Health, Mongolia)
- SR-16 総胆管結石症に対して二期的に内視鏡的胆管結石除去術を行い採石に成功した小児例
平井 幹大（茨城県立こども病院小児総合診療科）
- ★O-34 The First Endoscopic Ischemic Polypectomy for a Pediatric Patient with Peutz-Jeghers Syndrome in Mongolia
Ulzii Dashnyam
(Mongolian National University of Medical Sciences, Department of Pediatrics)
- O-35 消化管からの大量出血により集学的治療を要した慢性特発性偽性腸閉塞症の3例
石川 達也（大阪母子医療センター消化器・内分泌科）
- O-36 内視鏡的胆道ステント留置が胆道拡張症手術の安全性と低侵襲性を高めた4症例の検討
益子 貴行（茨城県立こども病院小児外科）

14：50～15：50 教育講演Ⅰ 日本小児科学会小児科領域講習取得講演

「小児におけるダブルバルーン内視鏡」
座長：岩間 達（埼玉県立小児医療センター消化器・肝臓科）
演者：矢野 智則（自治医科大学内科学講座消化器内科学部門）

17：10～17：50 新企画・クイズJSPGHAN

司会：竹内 一朗（国立成育医療センター消化器科／小児IBDセンター）
山本 陽子（東京女子医科大学病院小児科）

第3会場（2F 大会議室202）

9 : 05~10 : 05 一般演題 アレルギー・好酸球性消化管疾患

座長：佐々木美香（盛岡医療センター小児科）

工藤 孝広（順天堂大学小児科）

- O-37 門脈ガス血症を伴い鑑別診断および治療に苦慮した新生児・乳児食物蛋白誘発胃腸炎の1例
堀田 阿紀（兵庫医科大学病院小児科）
- O-38 単施設における20年間の小児十二指腸潰瘍に関する後方視的研究
藤原 伸一（札幌厚生病院小児科）
- O-39 好酸球性胃炎における食物負荷試験の症状出現時期と血液バイオマーカーの検討
永嶋 早織（国立成育医療研究センター好酸球性消化管疾患研究室）
- O-40 好酸球性胃炎における上皮細胞変化を指標とした病理組織評価法の開発
—トランスクリプトーム結果を応用して—
野村 伊知郎（国立成育医療研究センター好酸球性消化管疾患研究室）
- O-41 当院における好酸球性胃炎における局所ブデゾニド療法の反応性の検討
渡邊 駿（信州大学医学部附属病院小児科）
- O-42 好酸球性胃腸炎（Non-EoE EGIDs）に対する食物除去療法の検討
奥田 真珠美（兵庫医科大学小児科）

10 : 15~11 : 45 一般演題 潰瘍性大腸炎①

人生100年時代の小児期発症炎症性腸疾患」③

座長：角田 文彦（宮城県立こども病院総合診療科・消化器科）

原 朋子（埼玉県立小児医療センター消化器・肝臓科）

- O-43 KCNT1遺伝子変異に合併した難治性潰瘍性大腸炎に対してウステキヌマブが有効であった1例
津村 直弥（久留米大学医学部小児科学講座）
- O-44 タクロリムスと高用量ステロイド併用療法中に薬剤性糖尿病を合併した重症潰瘍性大腸炎の1例
水谷 駿介（信州大学医学部小児医学教室）
- O-45 ほぼ同時期に発症した潰瘍性大腸炎の一卵性双生児例
宮本 亮佑（愛知医科大学病院小児科）
- O-46 上部消化管と小腸に病変を認め、血清抗インテグリン $\alpha v \beta 6$ 抗体が高値であった潰瘍性大腸炎の14歳女子
齊田 沙佑美（獨協医科大学医学部小児科学）
- O-47 広島漢方からミリキズマブへの移行により良好な寛解維持が得られた潰瘍性大腸炎の1例
柏木 項介（順天堂大学小児科）
- O-48 タクロリムスにより外科的治療を回避することができた重症潰瘍性大腸炎の3症例
香川 明生（近畿大学奈良病院小児科）

- O-49 小児潰瘍性大腸炎に対するウパダシチニブの有効性・安全性
吉田 正司（埼玉県立小児医療センター消化器・肝臓科／小児IBDセンター）
- ★O-50 超早期発症型潰瘍性大腸炎の発症におけるmaternal microchimerismの関与について：多施設後方視的研究
戸田 方紀（順天堂大学小児科）
- O-51 小児期発症潰瘍性大腸炎におけるPGE-MUMと相関する末梢血免疫表現型および大腸粘膜組織遺伝子発現の探索
今川 和生（筑波大学医学医療系小児科）

13：10～14：30 一般演題 炎症性腸疾患一般

「人生100年時代の小児期発症炎症性腸疾患」④

座長：日衛嶋 栄太郎（京都大学小児科）

高木 祐吾（熊本赤十字病院小児消化器・肝臓科）

- O-52 小児炎症性腸疾患の小腸病変に対するDiffusion Weighted Imaging (DWI) の有用性
藤川 皓基（広島大学大学院医系科学研究科小児科学）
- O-53 小児期・青年期IBD患者における消化管超音波検査の有効性に関する臨床的検討
東 良紘（山口大学大学院医学系研究科医学専攻小児科学講座）
- O-54 周期性小腸炎をきたしたMEFV遺伝子関連腸炎の1例
加藤 耕平（鳥取赤十字病院小児科）
- O-55 CTLA4遺伝子変異による慢性腸炎に続発した若年発症の胃癌の1例
渡 真奈武（大阪医科薬科大学病院小児科）
- O-56 炎症性腸疾患（IBD）の経過中に精神病発症危険状態（ARMS）を呈した2例
中村 明雄（順天堂大学小児科）
- ★O-57 Ras関連自己免疫性リンパ増殖症候群に合併した炎症性腸疾患の特徴に関する探索的研究
竹内 一朗（国立成育医療研究センター消化器科／小児IBDセンター）
- O-58 超早期発症炎症性腸疾患の治療戦略構築を目的としたリアルワールドデータ後方視的解析：多機関共同研究
南部 隆亮（埼玉県立小児医療センター消化器・肝臓科／小児IBDセンター）
- ★O-59 5-ASA不耐症における好酸球性炎症の関与：MBPを用いた組織学的解析
肥塚 慶之助（秋田大学総合診療・検査診断学講座）

14：50～15：50 一般演題 代謝性疾患・肝不全・肝移植

座長：近藤 園子（香川大学医学部小児科）

水田 耕一（埼玉県立小児医療センター移植センター）

- O-60 溶血性貧血で発症したWilson病の1例
清水 真帆（あいち小児保健医療総合センター感染免疫科）
- O-61 遅発性肝不全を発症し生体肝移植を施行した新規変異を有するA20ハプロ不全症の1例
松岡 由希（大阪大学大学院医学系研究科小児科学）

- O-62 当院でフォロー中の肝型糖原病 8 症例の臨床像と遺伝学的背景の検討
吉木 佑太朗（大阪母子医療センター消化器・内分泌科）
- O-63 フォンタン手術後の肝合併症の管理
—当院における小児期から成人期までの超音波検査法の統一化の取り組み—
坂田 恭史（山口大学大学院医学系研究科医学専攻小児科学講座）
- ★O-64 新生児ヘモクロマトーシスにおけるプロテインマイクロアレイ解析を用いた母体
自己抗体探索の試み
日衛嶋 栄太郎（京都大学小児科）
- O-65 小児生体肝移植の術前オステオサルコペニアの影響
堀内 俊男（自治医科大学消化器一般移植外科）

9月28日（日）【3日目】

第1会場（3F 中ホール）

8：00～8：50 モーニングセミナー

「消化器・肝臓の症状を呈する先天代謝異常症」

座長：乾 あやの（済生会横浜市東部病院小児肝臓消化器科）

演者：大石 公彦（東京慈恵会医科大学小児科学講座）

【共催】アレクシオンファーマ合同会社

9：00～10：00 一般演題 Microorganisms・Dysbiosis

座長：徳原 大介（和歌山県立医科大学小児科）

清水 泰岳（国立成育医療研究センター消化器科／小児IBDセンター）

O-66 和歌山県・大阪南部における2024年冬期のノロウイルス感染症の特徴と流行状況
土橋 智弥（和歌山県立医科大学小児科）

O-67 乳児期に中心静脈栄養を離脱できた短腸症候群患児の遠隔期の腸内細菌叢解析および胆汁酸分析

小西 健一郎（群馬県立小児医療センター外科）

O-68 胆道閉鎖症術後患者におけるケストース摂取による腸内細菌叢の変化
直江 篤樹（藤田医科大学小児外科学講座）O-69 小児専門病院における小児消化器疾患に対する水素呼気試験の有用性と課題
佐浦 龍太郎（大阪母子医療センター消化器・内分泌科）★O-70 小児過敏性腸症候群における唾液・腸液・便のマイクロバイオーーム解析
佐渡 智光（信州大学医学部小児医学教室）★O-71 糞便移植が奏功した小児再発性*Clostridioides difficile*腸炎の1女児例
Fecal Microbiota Transplantation for Recurrent *Clostridioides difficile* Colitis in a Japanese Girl

近藤 健夫（香川大学小児科）

10：05～11：05 特別講演Ⅱ 日韓国交正常化60周年記念講演

「The Microbiome and Fecal Microbiota Transplantation: Emerging Roles in Pediatric Gastroenterology」

座長：熊谷 秀規（自治医科大学小児科学）

演者：Hong Koh（延世大学セブランス病院糞便微生物移植センター）

11：15～12：05 一般演題 胆汁うっ滞性肝疾患

座長：今川 和生（筑波大学医学医療系小児科）

SR-17 11番染色体長腕中間部欠失を背景に有する原発性硬化性胆管炎の小児例

江頭 はるな（筑波大学附属病院小児科）

- O-72 SARS-CoV-2感染後に食物蛋白誘発胃腸炎と硬化性胆管炎を惹起したと考えられる乳児
田金 星都（岩手医科大学小児科）
- 👑O-73 進行性家族性肝内胆汁うっ滞症1型（PFIC1）において胆汁うっ滞は脂肪肝発症を抑制する
大岡 晟也（東京大学大学院薬学系研究科分子薬物動態学教室）
- O-74 小児胆汁うっ滞性肝疾患に対する全ゲノム解析の導入
谷村 知繁（名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野）
- O-75 CIRCLEを用いたリアルワールドデータ解析（中間解析）：低出生体重児における胆汁うっ滞の臨床的特徴
中野 聡（順天堂大学小児科）

12：20～13：10 ランチョンセミナー2

「アラジール症候群・PFICの早期診断と痒みのコントロール」

座長：水落 建輝（久留米大学医学部小児科学講座）

演者：今川 和生（筑波大学医学医療系小児科）

【共催】武田薬品工業株式会社

13：20～13：50 受賞講演：学会賞、若手優秀論文賞

座長：水落 建輝（久留米大学医学部小児科学講座）

学会賞 笠原 群生（国立成育医療研究センター病院長）

若手優秀論文賞 青木 香央里（順天堂大学小児科）

14：00～14：40 一般演題 潰瘍性大腸炎②

「人生100年時代の小児期発症炎症性腸疾患」⑤

座長：南部 隆亮（埼玉県立小児医療センター消化器・肝臓科／小児炎症性腸疾患センター）

O-76 実臨床における小児潰瘍性大腸炎に対する血清PR3-ANCAの有用性：A pilot study

本間 一樹（久留米大学医学部小児科学講座）

★O-77 小児潰瘍性大腸炎における神経内分泌細胞マーカーの定量的発現解析と臨床的意義

成重 勇太（宮城県立こども病院）

O-78 小児潰瘍性大腸炎における臨床的寛解中の大腸内視鏡所見と再燃リスクの関連性
杉山 謙一郎（埼玉県立小児医療センター消化器・肝臓科／小児IBDセンター）

O-79 輸血を要した小児潰瘍性大腸炎の臨床経過：単施設後方視的観察研究
永田 万純（順天堂大学小児科）

14:50～15:40 アフタヌーンセミナー

「小児慢性機能性便秘症診療ガイドライン(2025年版) 改訂のポイント
～PEG製剤のエビデンスを含めて～」

座長：虻川 大樹（宮城県立こども病院院長）

演者：中山 佳子（信州大学医学部附属病院小児科・内視鏡センター）

【共催】EAファーマ株式会社

15:45～16:00 閉会の辞／次回学術集会会長の挨拶

司会：横山 孝二（自治医科大学小児科学）

閉会の挨拶 熊谷 秀規（自治医科大学小児科学）

次期学術集会会長挨拶 奥田 真珠美（兵庫医科大学小児科学）

第2会場（2F 大会議室201）

9：00～10：00 パネルディスカッション 人生100年時代の胆道閉鎖

座長：別所 一彦（滋慶医療科学大学大学院）

松浦 俊治（九州大学小児外科）

SR-18 胎便性腹膜炎術後に合併した胆道閉鎖症の1例

水野 成紀（三重大学医学部附属病院消化管小児外科）

PD-01 胆道閉鎖症術後に非典型的な減黄不良を呈した後天性サイトメガロウイルス感染症の1例

小山 亮太（岩手医科大学医学部外科学講座）

PD-02 自己肝で妊娠・出産を経験した胆道閉鎖症19例32妊娠の検討からみえた周産期管理における課題

肥沼 幸（国立成育医療研究センター女性の健康総合センター妊娠と薬情報センター）

★PD-03 当院における小児胆道閉鎖症に対するethanolamine oleateによる内視鏡的静脈瘤硬化療法

横山 晋也（名古屋大学大学院医学系研究科消化器内科学）

PD-04 胆道閉鎖症における成人移行支援

眞田 幸弘（自治医科大学消化器一般移植外科）

11：10～12：10 一般演題 機能性消化管疾患，漢方医学

座長：細井 賢二（東京都立小児総合医療センター消化器科）

倉沢 伸吾（信州大学医学部小児医学教室）

O-80 食道インピーダンスpHモニタリングにおける夜間平均ベースラインの有用性
神坐 恵理香（千葉県こども病院）

O-81 機能性消化管障害を伴う小児前皮神経絞扼症候群の臨床像と治療効果
佐藤 友紀（広島市立舟入市民病院小児科）

O-82 小児過敏性腸症候群を対象としたセリアック病探索
山下 貴大（熊本赤十字病院こども医療センター小児科）

O-83 小児・成人便秘型過敏性腸症候群（IBS）RomeIV診断基準の相違点の画像を用いた解釈とRomeVに向けての展望

水上 健（久里浜医療センター内視鏡検診センター）

O-84 小児の上部消化器症状に対する漢方療法～消化管機能検査からのアプローチ～
升井 大介（久留米大学外科学講座小児外科部門）

O-85 小児急性嘔吐症に対する五苓散坐薬療法の有効性および利便性に関する検討
佐久間 彩子（広島市立北部医療センター安佐市民病院小児科）

12:20~13:10 ランチョンセミナー3

「小児科医に知ってほしい炎症性腸疾患研究の最前線」

座長：熊谷 秀規（自治医科大学小児科学）

演者：内藤 裕二（京都府立医科大学大学院医学研究科生体免疫栄養学講座）

【共催】ミヤリサン製薬株式会社

14:00~14:40 一般演題 肝炎・肝障害

座長：乾 あやの（済生会横浜市東部病院小児肝臓消化器科）

- O-86 C型肝炎ウイルス母子感染後にウイルスRNAが自然陰性化した児の長期経過
佐々木 暢彦（町立厚岸病院小児科）
- O-87 実臨床における3～11歳の小児C型肝炎に対するグレカプレビル／ピブレンタスビルの有効性と安全性：多機関共同研究
水落 建輝（久留米大学小児科）
- O-88 腹部症状と肝障害を繰り返した女児例
樋口 司（長野県立こども病院総合小児科）
- O-89 治療的血漿交換が奏功した原因不明の小児急性肝炎の1例
住居 慎一郎（沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児総合診療科）

第3会場（2F 大会議室202）

9：00～10：00 シンポジウム2 安全・安心な検査と治療

座長：梅津守一郎（済生会横浜市東部病院小児肝臓消化器科）

益子 貴行（茨城県立こども病院小児外科）

SY-07 小児診療看護師（NP）による末梢挿入型中心静脈カテーテル管理の実践
—小児消化器領域における検討—

大石 直之（済生会横浜市東部病院診療看護師室小児診療看護師（NP））

SY-08 新生児・乳児における下部消化管内視鏡検査の現状と臨床的意義

矢部 清晃（東京都立小児総合医療センター消化器科）

SY-09 静脈麻酔鎮静下での小児上部消化管内視鏡検査におけるCO₂送気と空気送気の無
作為比較試験

前山 隆智（大阪母子医療センター消化器・内分泌科）

SY-10 小児における小腸カプセル内視鏡前の消化管開存性評価：単施設後方視的観察研
究

山野 由貴（大阪母子医療センター消化器・内分泌科）

SY-11 小児消化器内視鏡の普及を目指して

—「小児消化器内視鏡ハンズオンセミナー」の紹介—

岩間 達（埼玉県立小児医療センター消化器・肝臓科）

SY-12 小児の消化管内視鏡検査における鎮静に関するアンケート調査結果の報告

横山 孝二（自治医科大学小児科学）

11：10～12：10 教育講演Ⅱ 日本小児科学会小児科領域講習取得講演

「ミトコンドリア肝症の診療最前線」

座長：村山 圭（順天堂大学大学院医学研究科小児科学講座／難治性疾患診断・治療学）

演者：志村 優（千葉県こども病院代謝科）

13：30～16：00 市民公開シンポジウム「第14回栃木県の移植医療を考える」

～小児の栄養消化器肝臓移植医療～

第1部：知ることから始まる臓器移植

第2部：美味しく健康的でWell-beingな食事を栃木から発信しよう